

令和5年度 北海道旭川南高等学校 シラバス

教科名	科目名	年次	単位	年間予定時間	担当
数学	数学Ⅰ・数学A	1	数Ⅰ:3 数A:2	175	狩野・石川・小川

年間指導計画

前期中間 時数	前期期末 時数	後期中間 時数	後期期末 時数
35時間	50時間	45時間	45時間

授業の目標

1. 基本的な内容を理解し、論理的な思考を身に付ける。
2. 基礎の定着、積み重ねを徹底するために、副教材を活用し、家庭学習を習慣化する。
3. 高度な内容にも対応できるよう、副教材を活用し、意欲的かつ自主的に教科へ取り組む。

学習方法

- 授業をしっかりと聞き、内容を理解する。
- 理解した内容について、練習問題を解き確認する。
- 理解の深度を測るために、副教材の問題を解き、数学的な力を身に付ける。

教科書・教材

- 教科書「高等学校 数学Ⅰ」「高等学校 数学A」(ともに数研出版)
- 問題集「改訂版 Study-Upノート 数学Ⅰ+A」(数研出版)
- 参考書「新課程チャート式解法と演習数学Ⅰ・A」(数研出版)

評価の観点・規準・方法

評価の観点	評価規準(到達目標)	割合	評価の方法
ア:知識・技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	40%	授業中の取組状況 定期考査・単元テスト・小テスト
イ:思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	30%	授業中の取組状況 定期考査・単元テスト・小テスト
ウ:主体的に学習に取り組む態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	30%	授業中の取組状況 課題・宿題等の提出物の提出状況

その他・備考

- ・ 授業や平日の家庭学習として、「Study-Upノート 数学Ⅰ+A」に取り組む。
- ・ 平日や週末の家庭学習として、「チャート式解法と演習数学Ⅰ・A」および週末課題に取り組む。
- ・ 各テストで29点以下をとった者は、試験期間終了後に合格するまで放課後等で補習テストを行う。